

本県の経済活動の状況

～平成25年度静岡県県民経済計算及び地域経済計算から～

政策企画部 統計利用課

はじめに

県民経済計算は、県民の経済活動によって1年間に生み出された成果（付加価値）を、生産・分配・支出の三面から総合的かつ体系的にとらえたものです。

本県の経済規模、構造、成長率や県民の所得などを明らかにするだけでなく、①経済力、②経済的な豊かさ、③産業構造を示す指標としても利用されています。

また、地域経済計算は、県民経済計算で推計した県全体の県内総生産を、様々な統計等を基に分割し、県内5地域及び各市町別の経済状況を明らかにしたものです。

今回の特集では、最新値である平成25年度の推計結果から本県の経済活動の状況を理解いただき、様々な事業や施策に御活用いただければ幸いです。

1 県全体の経済活動の状況

県民経済計算の推計結果である県内総生産、経済成長率、県民所得及び一人当たり県民所得から、平成25年度の状況等を明らかにする。

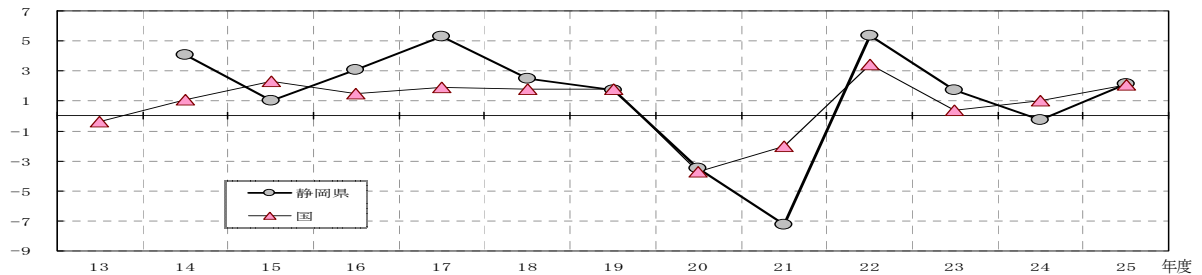
(1) 平成25年度の概況

経済成長率は、実質+2.2%、名目+2.4%と、ともにプラスとなり、また、ともに国（実質+2.1%、名目+1.8%）を上回った。

これは、日本経済が緩やかな回復傾向にある中、年度末の消費税引き上げ前の駆け込み需要の影響もあり、本県も全体的に好調であったためである。

図表1 実質経済成長率（連鎖）の推移

（単位：％）



実質（連鎖）経済成長率の推移

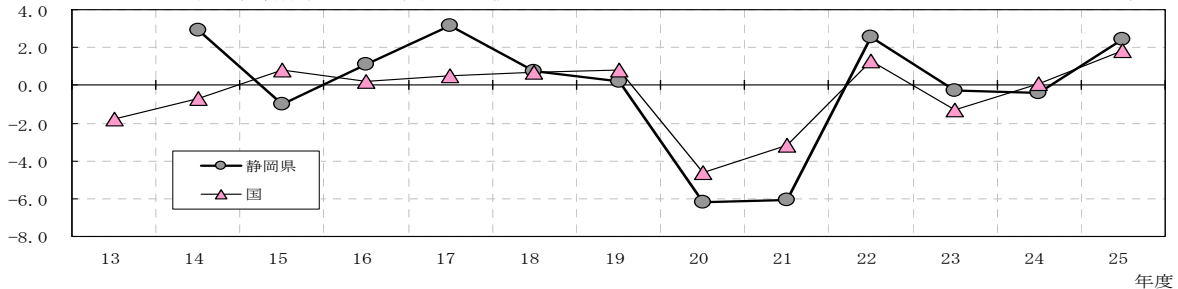
単位：％

項目	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
静岡県	-	4.1	1.0	3.1	5.3	2.5	1.7	-3.5	-7.3	5.4	1.7	-0.3	2.2
国	-0.4	1.1	2.3	1.5	1.9	1.8	1.8	-3.7	-2.0	3.4	0.4	1.0	2.1

国値：内閣府経済社会総合研究所『国民経済計算年報 平成27年版』

図表2 名目経済成長率（連鎖）の推移

（単位：％）



名目経済成長率の推移

単位：％

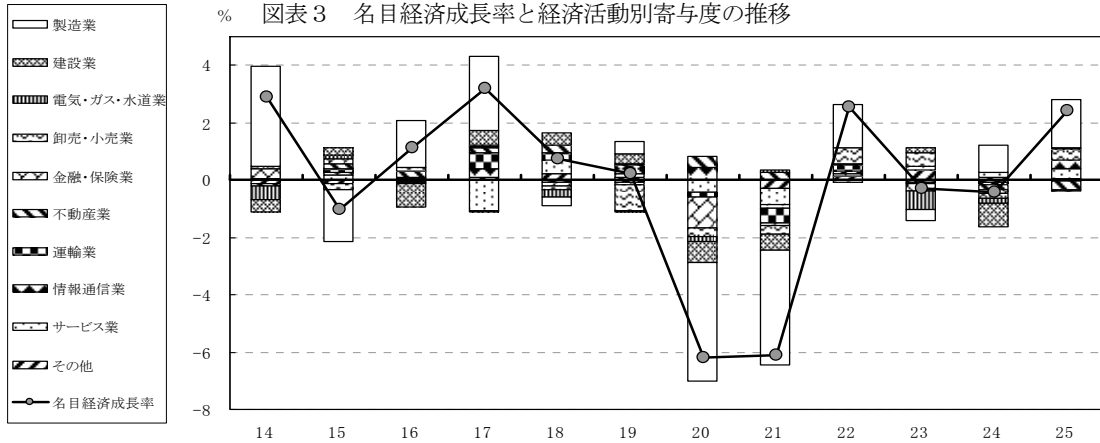
区分	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
静岡県	-	2.9	-1.0	1.1	3.2	0.7	0.2	-6.2	-6.1	2.5	-0.3	-0.4	2.4
国	-1.8	-0.7	0.8	0.2	0.5	0.7	0.8	-4.6	-3.2	1.3	-1.3	0.1	1.8

国値：内閣府経済社会総合研究所『国民経済計算年報 平成27年版』

(2) 名目経済成長率に対する寄与度

名目経済成長率+2.4%に対する経済活動別寄与度が最も大きかったのは、製造業の+1.7%であった。特に製造業の中でも、輸送用機械、電気機械や一般機械が増加したことにより製造業全体も増加した。

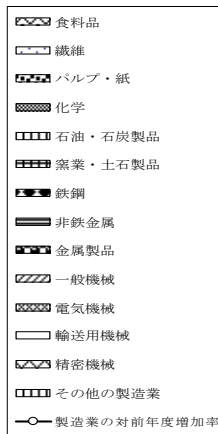
製造業に次に生産額の大きい産業では、サービス業、卸売・小売業が好調だった。



名目経済成長率と経済活動別寄与度の推移

年度
単位：%

項目	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
製造業	-	3.5	-1.8	1.6	2.6	-0.3	0.4	-4.1	-4.0	1.5	-0.4	0.9	1.7
建設業	-	-0.4	0.3	-0.8	0.5	0.4	0.4	-0.8	-0.6	0.0	0.2	-0.8	0.0
電気・ガス・水道業	-	-0.5	0.1	0.0	0.0	-0.2	-0.1	-0.2	0.1	0.0	-0.6	-0.2	0.0
卸売・小売業	-	0.1	-0.2	0.2	-0.1	-0.1	-0.9	-0.3	-0.3	0.5	0.5	-0.2	0.4
金融・保険業	-	0.4	0.2	0.0	0.1	-0.2	-0.1	-1.1	-0.1	-0.1	-0.2	-0.1	0.0
不動産業	-	-0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.0	0.4	0.3	0.1	-0.1	-0.2	-0.3
運輸業	-	0.0	0.1	0.1	0.6	0.3	-0.1	-0.2	-0.5	0.2	0.0	-0.1	0.0
情報通信業	-	0.0	0.1	0.0	0.3	-0.1	0.3	0.4	-0.1	0.1	-0.1	-0.1	0.3
サービス業	-	0.0	0.2	0.0	-1.0	0.5	0.2	-0.4	-0.6	0.1	0.1	0.2	0.4
その他	-	-0.1	-0.1	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	-0.3	0.2	0.4	0.1	0.0
名目経済成長率	-	2.9	-1.0	1.1	3.2	0.7	0.2	-6.2	-6.1	2.5	-0.3	-0.4	2.4



図表4 製造業の中分類別寄与度の推移

年度
単位：%

製造業の中分類別寄与度の推移

中分類	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
食料品	-	0.2	0.0	0.2	2.4	0.5	-0.4	-0.3	-1.2	1.4	0.4	0.4	0.2
繊維	-	0.0	-0.1	-0.1	0.0	-0.1	0.1	0.0	-0.3	0.0	0.1	0.0	0.0
パルプ・紙	-	1.3	-1.2	1.3	0.4	-2.2	0.7	-2.3	2.4	-0.7	-1.1	-0.5	-0.6
化学	-	0.1	0.0	-0.1	-2.0	0.3	-0.6	0.6	-2.6	1.9	0.3	-0.5	0.5
石油・石炭製品	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
窯業・土石製品	-	0.0	0.0	0.1	0.4	-0.2	0.3	-0.2	-0.7	0.2	-0.1	-0.1	0.4
鉄鋼	-	0.1	0.1	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	-0.3	0.0	0.2	0.0	-0.1
非鉄金属	-	0.3	0.1	0.3	0.4	0.2	0.1	-0.4	-1.0	1.0	-0.4	-0.2	0.4
金属製品	-	-0.2	0.2	0.0	0.6	-0.1	0.1	-0.4	-0.9	0.4	-0.1	0.0	0.3
一般機械	-	-0.6	0.8	1.0	0.6	-0.1	0.7	-1.2	-2.5	-0.4	1.5	-0.2	0.8
電気機械	-	0.1	2.5	0.1	1.1	-0.7	0.9	-1.6	-3.7	3.0	-2.5	0.4	1.0
輸送用機械	-	9.1	-7.1	0.8	2.4	2.6	-2.0	-3.7	-0.5	-0.6	0.4	4.1	1.9
精密機械	-	-0.2	0.0	-0.1	0.2	0.0	0.5	0.1	0.0	-1.2	0.3	-0.7	0.3
その他の製造業	-	0.4	-0.6	0.9	0.8	-1.0	0.8	-1.8	-0.3	-0.2	-0.2	0.2	-0.1

(3) 県民経済計算の主要指標(県内総生産、県民所得、一人当たり県民所得)の状況

平成25年度の県内総生産は15兆8763億円、県民所得は12兆3817億円、一人当たり県民所得は332万6千円である。

県内総生産の額は前年度よりも増加し、平成13年度から連続して全国10位となっており、また国内総生産の3.1%を占めている。

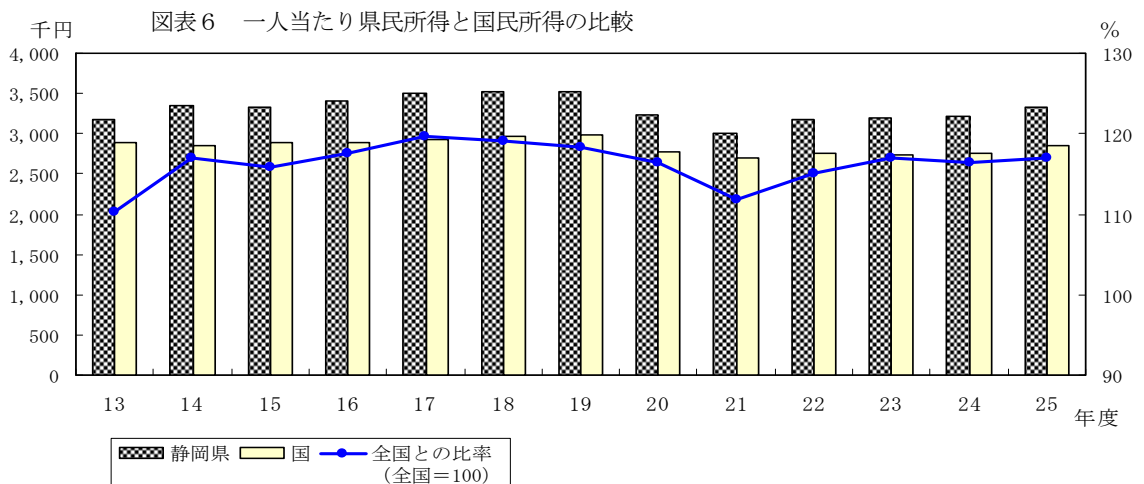
さらに、一人当たり県民所得は4年連続で全国3位となった。一人当たり国民所得の284万5千円と比較すると、金額で48万1千円、率で16.9%上回っている。

なお、東京都は日本の上場企業の本社が集中していることに加え、様々な産業分野が集中している地域であるため、県内総生産等の値は他の道府県と比較し、群を抜いて高くなっている。

図表5 平成25年度県民経済計算の全国順位

順位	(単位：十億円)		(単位：十億円)		(単位：千円)	
	県内総生産(名目)		県民所得		一人当たり県民所得	
1	東京都	93,128	東京都	59,959	東京都	4,508
2	大阪府	37,315	神奈川県	26,981	愛知県	3,579
3	愛知県	35,448	愛知県	26,639	静岡県	3,326
4	神奈川県	30,219	大阪府	26,506	滋賀県	3,273
5	埼玉県	20,678	埼玉県	20,647	栃木県	3,255
6	千葉県	19,811	千葉県	18,694	三重県	3,166
7	兵庫県	19,233	兵庫県	15,651	富山県	3,159
8	北海道	18,269	福岡県	14,406	茨城県	3,138
9	福岡県	18,190	北海道	13,821	山口県	3,125
10	静岡県	15,876	静岡県	12,382	広島県	3,060

注意：一人当たり県民所得とは、県民所得を県の総人口で割ったもので、企業の所得等も含んだ県民経済全体の水準を表す指標であり、県民個人の給与や実収入等を表すものではないことに注意が必要である。



一人当たり県民所得と国民所得(要素費用表示)の比較

項目	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
静岡県	3,179	3,341	3,337	3,407	3,506	3,521	3,526	3,226	3,008	3,171	3,200	3,216	3,326
国	2,883	2,855	2,883	2,897	2,928	2,957	2,978	2,773	2,690	2,755	2,737	2,761	2,845
全国との比率 (全国=100)	110.3	117.0	115.7	117.6	119.7	119.1	118.4	116.3	111.8	115.1	116.9	116.5	116.9

※国計数：内閣府経済社会総合研究所『国民経済計算年報 平成27年版』

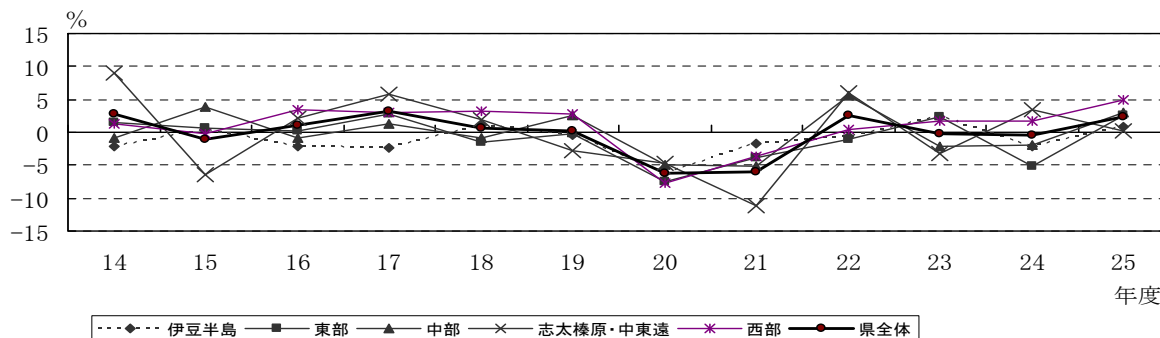
2 地域別の経済活動の状況

次に、県総合計画の地域区分である5地域（伊豆半島、東部、中部、志太榛原・中東遠、西部）に区分し、平成25年度の状況について説明する。

(1) 地域別経済成長率

平成25年度の地域別経済成長率は、西部地域が+4.9%と最大で、以下、中部、東部、伊豆半島、志太榛原・中東遠となり、全ての地域でプラス成長であった。

図表7 地域別経済成長率の推移



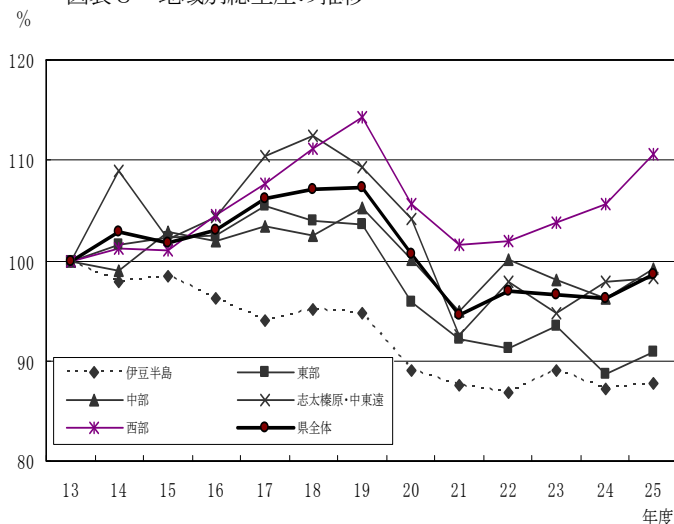
項目	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
伊豆半島	-	-2.1	0.5	-2.2	-2.3	1.1	-0.3	-6.1	-1.7	-0.7	2.5	-2.2	0.8
東部	-	1.6	0.7	0.2	2.9	-1.5	-0.3	-7.6	-3.8	-1.0	2.3	-5.1	2.5
中部	-	-0.9	3.8	-0.8	1.4	-0.8	2.6	-5.0	-5.1	5.5	-2.1	-1.9	3.0
志太榛原・中東遠	-	8.9	-6.3	2.2	5.8	1.8	-2.7	-4.7	-11.2	5.9	-3.3	3.4	0.3
西部	-	1.3	-0.3	3.4	3.1	3.2	2.8	-7.6	-3.7	0.3	1.8	1.7	4.9
県全体	-	2.9	-1.0	1.1	3.2	0.7	0.2	-6.2	-6.1	2.5	-0.3	-0.4	2.4

(2) 地域別総生産

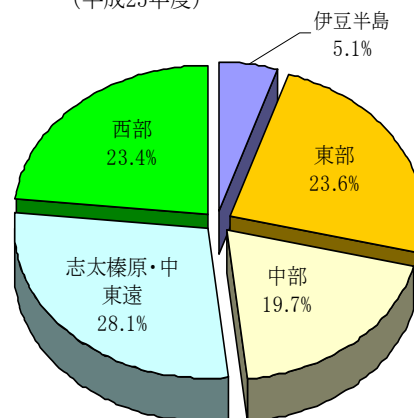
平成25年度の地域別の総生産を見ると、志太榛原・中東遠地域が4兆4685億円、構成比が28.1%で最大となり、以下、東部、西部、中部、伊豆半島の順となった。

平成13年度を100として時系列で見ると、伊豆半島地域は総じて減少傾向であり、他の地域は、リーマンショックの影響で平成20～21年度にかけて大きく落ち込み、その後は横ばい又は微増傾向となっている。

図表8 地域別総生産の推移



図表9 地域別総生産の割合
(平成25年度)



地域別総生産の推移 単位：十億円

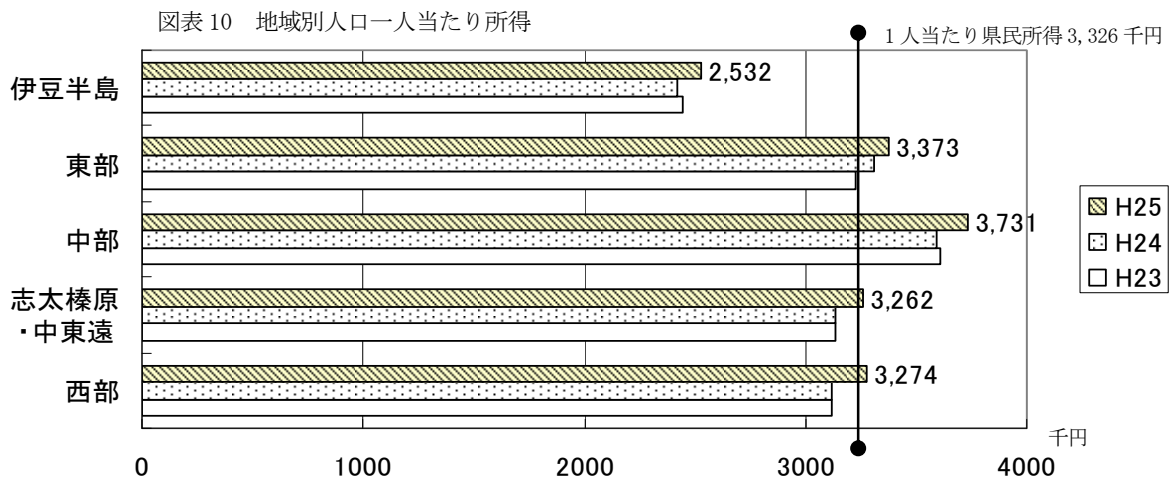
項目	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
伊豆半島	928	909	913	893	873	883	880	826	812	807	827	809	815
東部	4,127	4,192	4,223	4,232	4,353	4,290	4,277	3,954	3,805	3,768	3,854	3,659	3,752
中部	3,152	3,122	3,242	3,215	3,260	3,232	3,318	3,153	2,992	3,158	3,093	3,035	3,127
志太榛原・中東遠	4,549	4,956	4,642	4,746	5,019	5,111	4,974	4,738	4,206	4,455	4,308	4,456	4,468
西部	3,356	3,399	3,388	3,504	3,613	3,729	3,833	3,541	3,411	3,423	3,484	3,542	3,714
県全体	16,112	16,578	16,408	16,591	17,118	17,245	17,282	16,213	15,226	15,610	15,565	15,501	15,876

地域別総生産の構成比の推移 単位：%

項目	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
伊豆半島	5.8	5.5	5.6	5.4	5.1	5.1	5.1	5.1	5.3	5.2	5.3	5.2	5.1
東部	25.6	25.3	25.7	25.5	25.4	24.9	24.8	24.4	25.0	24.1	24.8	23.6	23.6
中部	19.6	18.8	19.8	19.4	19.0	18.7	19.2	19.4	19.6	20.2	19.9	19.6	19.7
志太榛原・中東遠	28.2	29.9	28.3	28.6	29.3	29.6	28.8	29.2	27.6	28.5	27.7	28.7	28.1
西部	20.8	20.5	20.6	21.1	21.1	21.6	22.2	21.8	22.4	21.9	22.4	22.8	23.4
県全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

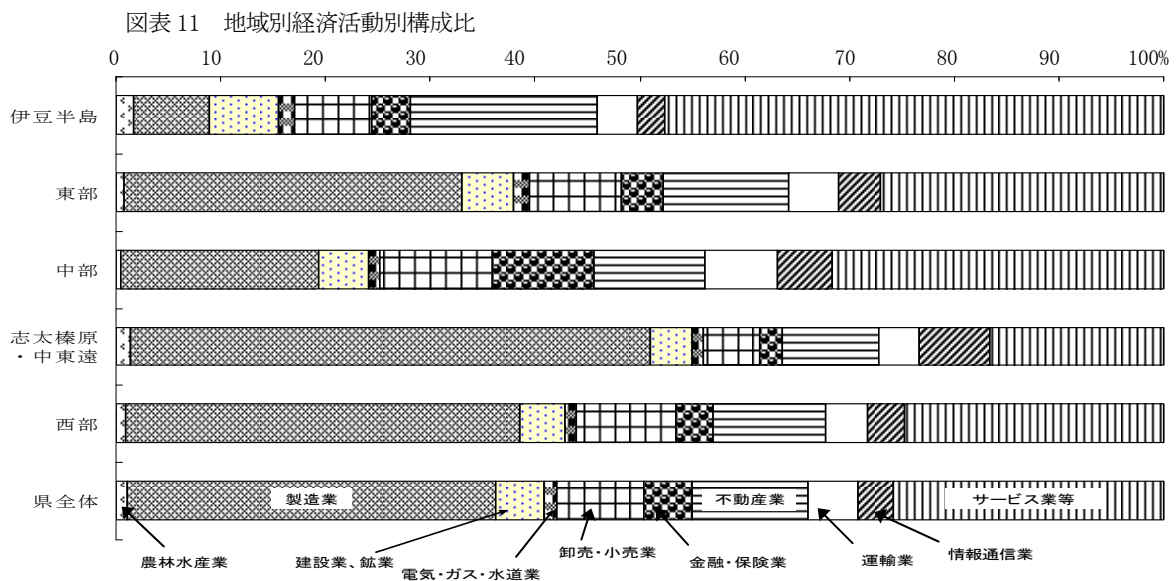
(3) 地域別人口一人当たり所得

中部が373万1千円と最も高く、中部及び東部が一人当たり県民所得を上回った。



(4) 産業構造

地域別経済活動別構成比を見ると、伊豆半島地域ではサービス業等、中部地域では金融・保険業、志太榛原・中東遠地域では製造業の割合が大きいなど、それぞれの地域の特徴がはっきりと表れている。



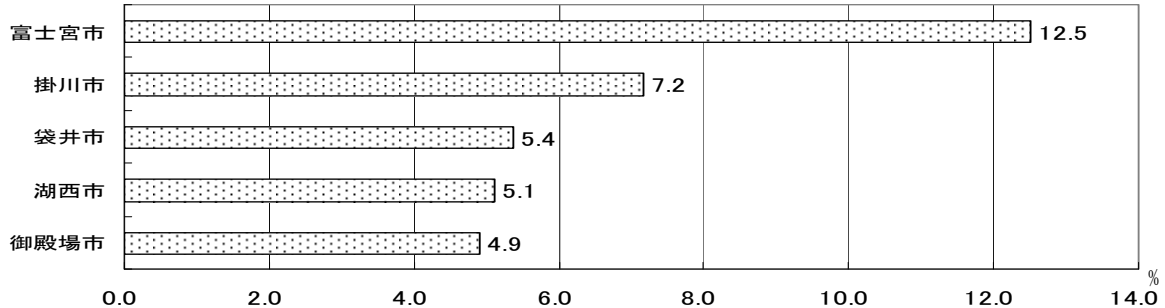
3 市町別の経済活動の状況

続いて、市町別の平成 25 年度の状況について説明する。

(1) 市町別経済成長率

富士宮市が+12.5%で最も高く、19 市町がプラス成長となった。

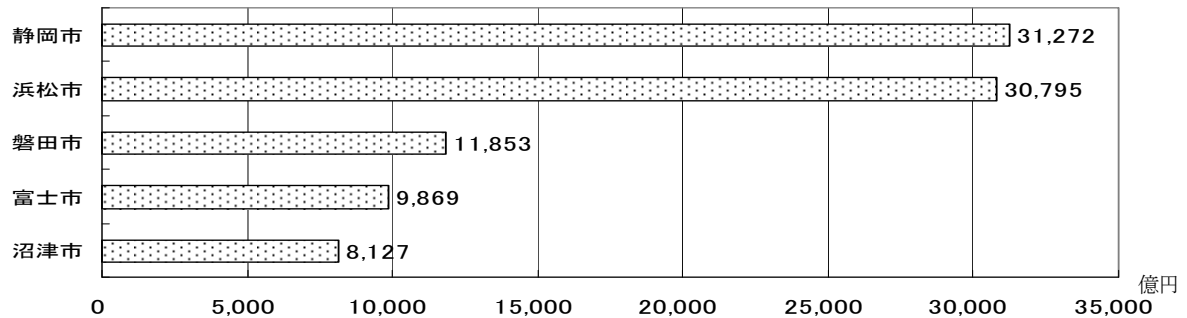
図表 12 市町別経済成長率（上位 5 市）



(2) 市町内総生産

静岡市が 3 兆 1272 億円で最も高く、上位 5 市で県内総生産の約 58%を占める。

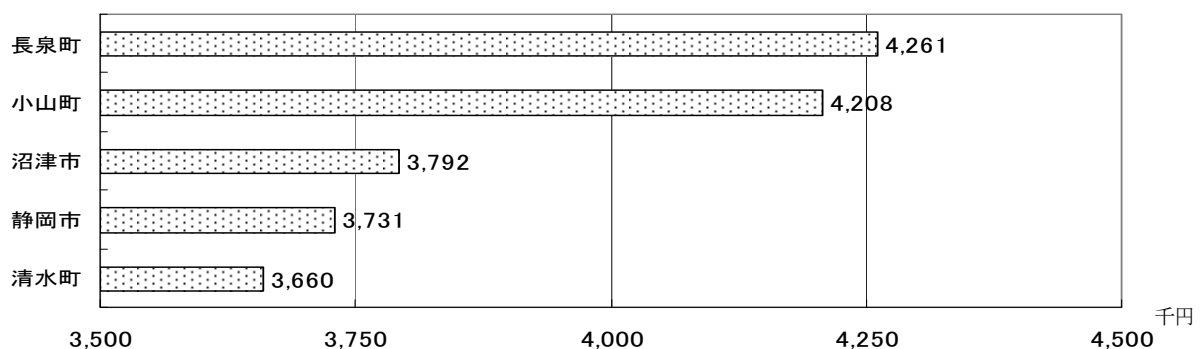
図表 13 市町内総生産（上位 5 市）



(3) 一人当たり市町民所得

長泉町が 426 万 1 千円で最も高く、12 市町で一人当たり県民所得を上回った。

図表 14 市町別一人当たり市町民所得（上位 5 市町）



むすびに

静岡県県民経済計算及び地域経済計算の詳細なデータについては、静岡県統計情報ホームページ「統計センターしずおか」(URL <http://toukei.pref.shizuoka.jp/>)で入手することができますので、ぜひ御覧ください。

また、最近の経済活動の状況を確認したい場合には、四半期別速報（4月、7月、10月、1月公表）や平成 27 年度県民経済計算速報も「統計センターしずおか」から入手できますので、こちらも御活用ください。